中学地理プリント（書き取り）
日本の資源と産業 No.18

名前

得点 ／19

1. 太陽光や風力のように、自然界で繰り返し利用でき、発電時に二酸化炭素を排出しないものを何という？
2. 現在、阪神工業地帯において大阪府から兵庫県にかけて集積している、石油精製やプラスチック製品などを作る工業を何という？
3. 旬の時期以外にも出荷量を安定させるため、ガラスやビニールハウスなどを使って栽培することを何という？
4. 深刻な公害問題を乗り越え、低炭素社会をめざす先進的な取り組みが国に選定された都市を何という？
5. 製品の素材を加工して部品を作り、それを組み立てて製品を完成させるタイプの工業を何という？
6. 大都市の消費者に新鮮な野菜を届けるため、都市の近隣で行われる農業を何という？
7. 関東地方から九州にかけて、日本の製造業が集中している沿岸地域を何という？
8. 火山の地下にあるマグマの熱を利用して発電する方法を何という？
9. 貿易摩擦を解消するために、日本企業が消費地の近くに工場を建設して生産を行うことを何という？
10. 日本の海面養殖業で盛んに生産されており、食卓でも身近な海藻類を何という？
11. 自然の海や川で魚を捕るのではなく、人の手で育ててから収穫する手法を何という？
12. 1980年代に、日本から自動車や半導体などが大量に輸出されたことで生じた国際的な不釣り合いを何という？
13. 長野県に位置し、夏に涼しい気候を生かしたレタスなどの生産が盛んな高原地帯はどこ？
14. 京浜工業地帯において、東京都と接しており、横浜港などの重要な港湾を持つ県はどこ？
15. 生産された作物を大都市などの消費地へ流通させるために経由する、卸売の拠点となる場所を何という？
16. 特定の企業や工場を中心に、関連企業が集中して町全体が成り立っているような形態を何という？
17. 太平洋ベルトにおいて、東京都と神奈川県にまたがる、日本屈指の工業地域を何という？
18. 日本企業が海外の工場建設や現地法人設立のために資金を投入することを何という？
19. 京浜工業地帯などで、かつての重化学工業からシフトして集積が進んでいる、高度な技術を要する産業を何という？

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「日本の資源と産業」のプリント一覧がひらきます